

設 計 仕 様 書

本書は、当社で製作する内外装建材の仕様書です。

[1] 指示チェックなき場合は、※印仕様（当社標準仕様）にて製作します。

[2] ※印以外の仕様を適用する場合は、該当項目（ ）に特記または ■印 をつけております。（但し、□印のついたものは適用しない。）

[3] 当工事で使用する製品および種類に、○印のついたものを適用します。（但し、・印のものは適用しない。）

[4] 設計図書等の相互に差異のある場合は、原則として設計図書 記載の優先順位に基づいた仕様を適用します。
1) 質疑応答書 2) 特記仕様書 3) 設計図 4) 標準仕様書 5) 設計内訳書 6) 当社標準仕様書

[5] 設計図及び特記仕様に記載されていない事項は、指定の建築工事標準仕様書による仕様を適用します。
1項の「建築工事標準仕様書」が〔有り〕の場合は、2項以下その仕様に基づきます。

1 設計図書

建築工事標準仕様書の有無
 ※ 無し □ 有り 新築工事（ ） 平成（ ）年度版による。
 改修工事（ ） 平成（ ）年度版による。

2 設計仕様

設計風圧力 ※ 建築基準法施行令第82条の5、第87条の2、および建設省告示第1454号、1458号により算出 □（ ）		
当工事で使用する主な外装製品 <small>(下記以外の製品は空欄に記載のこと)</small>	設計風圧力	備 考
・ 手すり	・ 中央部	※ □ (N/m ²)
	・ コーナー部 (部位Ⅰ)	※ □ (N/m ²)
	・ コーナー部 (部位Ⅱ)	※ □ (N/m ²)
	・ ルーフバルコニー部	※ □ (N/m ²)
	・ 防風スクリーン部	※ □ (N/m ²)
・ 隔 板	※ □ (N/m ²)	
・ 笠 木	※ □ (N/m ²)	
・ EXP. J. C (屋根)	※ □ (N/m ²)	
・ EXP. J. C (外壁)	※ □ (N/m ²)	
・ 外装パネル ・ 外装スバンドレル	※ □ (N/m ²)	
・ 外装ルーバー	※ □ (N/m ²)	
・ ひさし	※ □ (N/m ²)	
・ たてとい	・ 丸	※ □ (N/m ²)
	・ 角	※ □ (N/m ²)
・ 軒とい	※ □ (N/m ²)	
・ アルミソーラーフレーム	※ □ (N/m ²)	
・ ()	□ (N/m ²)	

水平強度

水平強度
 ・ 980N/m ・ 1225N/m ・ 1470N/m ・ 2940N/m

耐積雪性能

垂直積雪量 (cm) ※建築基準法施行令86条3項
 多雪区域では特定行政庁が建設省告示第1455号に基づき定めた数値とする。
 [多雪区域]
 多雪区域を指定する基準は、次のいずれかです。
 (1) 垂直積雪量が1m以上の地域
 (2) 積雪の初終間日数 (当該区域中の積雪部分の割合が1/2を超える状態が継続する期間の日数)の平均値が30日以上区域
 積雪の単位荷重 ※ 20N/cm² □ 多雪区域 (N/cm²)

耐火性能

耐火性能区分
 ※ 遮炎性能 建築基準法施行令 第107条 3項 耐火帯厚 t=12.5mm (EAJ-防災-3011)
 □ 遮熱性能 建築基準法施行令 第107条 2項 耐火帯厚 t=25mm (EAJ-防災-3012)
 □ その他 ()

3 部材仕様

A 押出形材
 ※ JIS H4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材)に規定する A6063S-T5 及び A6N01S-T5

B 板 材
 ※ JIS H4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)に規定する A1100P-H14 及び A1050P-H14 又は相当材 □ ()

C ステンレス鋼材
 ※ JIS G4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)に規定する SUS304

D 形鋼・鋼板
 ※ JIS G3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)に規定する SPHC
 ※ JIS G3323 (溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯)に規定する SGMHC (ZAM鋼板)
 ※ JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)に規定する SS400

E ダイカスト類
 ※ JIS H5302 (アルミニウム合金ダイカスト)に規定する ADC12
 ※ JIS H5301 (亜鉛合金ダイカスト)に規定する ZDC2

F 樹脂ゴム成型材
 ※ JIS A5756 (建築用ガスケット)に準拠する オレフィン系熱可塑性エラストマー (色:黒, アイボリー, グレー)
 □ その他 ()

副資材

A アンカー・ねじ類
 ※ JIS G4303 (ステンレス鋼棒)、G4315 (冷間圧造用ステンレス鋼線)、JIS G4318 (冷間仕上ステンレス鋼棒) に規定する オーステナイト系 SUS304, SUS410, SUSXM7

B ボルト・ナット
 ※ JIS G4309 (ステンレス鋼線) に規定する オーステナイト系 SUS304 又は相当品

C 樹脂接着剤
 ※ CHEMOFAST 社 STV-345、STV-345TP (ビニルエステル樹脂系)

D ナイロンアンカー
 ※ Friulside 社 TU8 (ナイロン6)

E 付属金物・付属部品
 ※ 製品個別に使用する金物の材料は、JIS規格品又は同等の材料とし接触腐食を起こさない材料又は処理を施したものと
 □ その他 ()

ゴム・樹脂類

当工事で使用する止水ゴム、およびガラス・パネル押え等の種類
 □ ※ JIS A5756 (建築用ガスケット)に規定する EPDM、軟質PVC

A 補助シート _____ (EXP. J. C) ※ EPDM 、※ 軟質PVC

B レインバリア、ガスケット — (EXP. J. C) ※ 軟質PVC

C 止水シーラー _____ (手すり) ※ EPDM

D ガラス・パネル押えビード — (手すり) ※ 軟質PVC
 □ その他 ()

耐火帯

A 耐火帯 _____ (EXP. J. C)
 ※ アルカリアースシリケートウール (AES) 日本エキスパンションジョイント工業会基準適合品

B 耐火帯フレーム _____ (EXP. J. C)
 ※ JIS G3313 (電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)に規定する SECC (ボンデ鋼板)

4 表面処理

A アルミ製品 (※印は当社標準仕様)
 ※ JIS H8602:2010 (アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜)に規定する陽極酸化塗装複合皮膜

仕上げ種類	種類	処 理 方 法		規 格
		皮 膜	塗 膜	
・ シルバー形材 (艶消し)	A 1	陽極酸化皮膜 平均厚さ 5 μm 以上	アクリル樹脂クリア 塗装を塗布し中温乾燥	JIS H8602-2010
・ ステンカラー形材 (艶消し)				
・ ブロンズ形材 (艶消し)				
・ ブラック形材 (艶消し)				
・ その他着色形材 (艶消し)	□ ()			
・ シルバー板材 (艶消し)	※ A2 相当皮膜	□ ()		
二次電解着色色材 (艶消し)				
・ シルバー板材 (艶あり)	※ A2 相当皮膜	□ ()		
・ 二次電解着色色材 (艶あり)				

※ 笠木受けプレート、EXP. J. C フォルダ、外装パネル下地等の見え隠れとなるアルミ形材は、シルバーアルマイトとする。(JIS H8601:1999に規定する陽極酸化皮膜)

□ その他 複合皮膜仕様記入欄
 () ()

焼付け塗装

仕上げ種類	処 理 方 法		規 格	艶
	皮 膜	塗 膜		
・ アクリル樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	アクリル系樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 20 μm 以上 □ (μm 以上)	□ 3分 □ 5分 □ 全艶
・ ウレタン樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	ウレタン系樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 40 μm 以上 □ (μm 以上)	□ 3分 □ 5分 □ 全艶
・ フッ素樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	フッ素樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 40 μm 以上 □ (μm 以上)	□ 3分 □ 5分 □ 全艶

注) 淡彩色 (白系) や原色 (赤、青、黄) は厚膜とする。

□ その他 焼付け塗装仕様記入欄
 () () (μm 以上) □ 3分 □ 5分 □ 全艶

指定色の指定 ※ 日本塗料工業会 色見本帳色票番号または指定色見本による

指定色 見本	色票番号	備 考
※ 有り □ 無し	()	
	()	

B 鋼材・鋼製品
 ※ JIS H8610 (電気亜鉛めっき)に規定する 2種 4級 12 μ 以上
 ※ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき)に規定する HDZ40、HDZ45
 □ その他 ()

C ステンレス鋼材
 ※ 2B仕上 ※ HL仕上 □ その他 ()

設 計 仕 様 書

本書は、当社で製作する内外装建材の仕様書です。

[1] 指示チェックなき場合は、※印仕様（当社標準仕様）にて製作します。

[2] ※印以外の仕様を適用する場合は、該当項目（ ）に特記または ■印 をつけております。（但し、□印のついたものは適用しない。）

[3] 当工事で使用する製品および種類は、○印のついたものを適用します。（但し、・印のものは適用しない。）

[4] 設計図書等の相互に差異のある場合は、原則として設計図書 記載の優先順位に基づいた仕様を適用します。
1) 質疑応答書 2) 特記仕様書 3) 設計図 4) 標準仕様書 5) 設計内訳書 6) 当社標準仕様書

[5] 設計図及び特記仕様に記載されていない事項は、指定の建築工事標準仕様書による仕様を適用します。
1項の「建築工事標準仕様書」が〔有り〕の場合は、2項以下その仕様に基づきます。

1 設計図書

建築工事標準仕様書の有無
 ※ 無し ■ 有り 新築工事（公共建築工事標準仕様書 ） 平成（ 25 ）年度版による。
 改修工事（公共建築改修工事標準仕様書 ） 平成（ 25 ）年度版による。

2 設計仕様

設計風圧力 ※ 建築基準法施行令第82条の5、第87条の2、および建設省告示第1454号、1458号により算出 ■ (EXP. J. Cのみ 元請指定の設計風圧力とする。)				
当工事で使用する主な外装製品 <small>(下記以外の製品は空欄に記載のこと)</small>	設計風圧力	備 考		
○ 手すり	○ 中央部	※ □ (865 N/m ²)		
	○ コーナー部 (部位Ⅰ)	※ □ (1442 N/m ²)		
	○ コーナー部 (部位Ⅱ)	※ □ (2885 N/m ²)		
	・ ルーフバルコニー部	※ □ (N/m ²)		
	・ 防風スクリーン部	※ □ (N/m ²)		
・ 隔 板	※ □ (N/m ²)			
○ 笠 木	※ □ (2019 N/m ²)			
耐風圧性能	○ EXP. J. C (屋根)	※ ■ (3000 N/m ²)	元請指定による	
	○ EXP. J. C (外壁)	※ ■ (3000 N/m ²)	元請指定による	
	・ 外装パネル ・ 外装スバンドレル	※ □ (N/m ²)		
	・ 外装ルーバー	※ □ (N/m ²)		
	・ ひさし	※ □ (N/m ²)		
	・ たてとい	・ 丸	※ □ (N/m ²)	
		・ 角	※ □ (N/m ²)	
	・ 軒とい	※ □ (N/m ²)		
	・ アルミソーラーフレーム	※ □ (N/m ²)		
	・ ()	□ (N/m ²)		

水平強度	水平強度 ・ 980N/m ○ 1225N/m ・ 1470N/m ・ 2940N/m
------	--

耐積雪性能	垂直積雪量 (120 cm) ※建築基準法施行令86条3項 多雪区域では特定行政庁が建設省告示第1455号に基づき定めた数値とする。 〔多雪区域〕 多雪区域を指定する基準は、次のいずれかです。 (1) 垂直積雪量が1m以上の地域 (2) 積雪の初終間日数 (当該区域中の積雪部分の割合が1/2を超える状態が継続する期間の日数)の平均値が30日以上 の区域 積雪の単位荷重 ※ 20N/cm ² ■ 多雪区域 (30 N/cm ²)
-------	---

耐火性能	耐火性能区分 ※ 遮炎性能 建築基準法施行令 第107条 3項 耐火帯厚 t=12.5mm (EAJ-防災-3011) □ 遮熱性能 建築基準法施行令 第107条 2項 耐火帯厚 t=25mm (EAJ-防災-3012) □ その他 ()
------	---

3 部材仕様

主要材料	A 押出形材 ※ JIS H4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材) に規定する A6063S-T5 及び A6N01S-T5 B 板 材 ※ JIS H4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条) に規定する A1100P-H14 及び A1050P-H14 又は相当材 □ () C ステンレス鋼材 ※ JIS G4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯) に規定する SUS304 D 形鋼・鋼板 ※ JIS G3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯) に規定する SPHC ※ JIS G3323 (溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯) に規定する SGMHC (ZAM鋼板) ※ JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材) に規定する SS400 E ダイカスト類 ※ JIS H5302 (アルミニウム合金ダイカスト) に規定する ADC12 ※ JIS H5301 (亜鉛合金ダイカスト) に規定する ZDC2 F 樹脂ゴム成型材 ※ JIS A5756 (建築用ガスケット) に準拠する オレフィン系熱可塑性エラストマー (色:黒, アイボリー, グレー) □ その他 ()
------	--

副資材	A アンカー・ねじ類 ※ JIS G4303 (ステンレス鋼棒)、G4315 (冷間圧造用ステンレス鋼線)、JIS G4318 (冷間仕上ステンレス鋼棒) に規定する オーステナイト系 SUS304, SUS410, SUSXM7 B ボルト・ナット ※ JIS G4309 (ステンレス鋼線) に規定する オーステナイト系 SUS304 又は相当品 C 樹脂接着剤 ※ CHEMOFAST 社 STV-345、STV-345TP (ビニルエステル樹脂系) D ナイロンアンカー ※ Friulside 社 TU8 (ナイロン6) E 付属金物・付属部品 ※ 製品個別に使用する金物の材料は、JIS規格品又は同等の材料とし接触腐食を起こさない材料又は処理を施したものと □ その他 ()
-----	--

ゴム・樹脂類	当工事で使用する止水ゴム、およびガラス・パネル押え等の種類 □ ※ JIS A5756 (建築用ガスケット) に規定する EPDM、軟質PVC A 補助シート (EXP. J. C) ※ EPDM、※ 軟質PVC B レインバリア、ガスケット (EXP. J. C) ※ 軟質PVC C 止水シーラー (手すり) ※ EPDM D ガラス・パネル押えビード (手すり) ※ 軟質PVC □ その他 ()
--------	--

耐火帯	A 耐火帯 (EXP. J. C) ※ アルカリアースシリケートウール (AES) 日本エキスパンションジョイント工業会基準適合品 B 耐火帯フレーム (EXP. J. C) ※ JIS G3313 (電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) に規定する SECC (ボンデ鋼板)
-----	---

4 表面処理

A アルミ製品 (※印は当社標準仕様) ※ JIS H8602:2010 (アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜) に規定する陽極酸化塗装複合皮膜				
仕上げ種類	種類	処 理 方 法		規 格
		皮 膜	塗 膜	
○ シルバー形材 (艶消し)	A 1	陽極酸化皮膜 平均厚さ 5 μm 以上	アクリル樹脂クリア 塗装を塗布し中温乾燥	JIS H8602-2010
・ ステンカラー形材 (艶消し)				
・ ブロンズ形材 (艶消し)				
・ ブラック形材 (艶消し)				
・ その他着色形材 (艶消し)	□ ()			
○ シルバー板材 (艶消し)	※ A2 相当皮膜	□ ()		
二次電解着色材 (艶消し)				
・ シルバー板材 (艶あり)	※ A2 相当皮膜	□ ()		
・ 二次電解着色材 (艶あり)				
※ 笠木受けプレート、EXP. J. C フォルダ、外装パネル下地等の見え隠れとなるアルミ形材は、シルバーアルマイトとする。(JIS H8601:1999 に規定する陽極酸化皮膜)				
□ その他 複合皮膜仕様記入欄 () ()				

焼付け塗装				
仕上げ種類	処 理 方 法		規 格	艶
	皮 膜	塗 膜		
○ アクリル樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	アクリル系樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 20 μm 以上 ■ (40 μm 以上)	■ 3分 □ 5分 □ 全艶
・ ウレタン樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	ウレタン系樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 40 μm 以上 □ (μm 以上)	□ 3分 □ 5分 □ 全艶
・ フッ素樹脂 焼付け塗装	化成皮膜下地	フッ素樹脂塗料を 塗布し中温乾燥する	※ 膜厚 40 μm 以上 □ (μm 以上)	□ 3分 □ 5分 □ 全艶
注) 淡彩色 (白系) や原色 (赤、青、黄) は厚膜とする。				
□ その他 焼付け塗装仕様記入欄 () (μm 以上) □ 3分 □ 5分 □ 全艶				

指定色の指定 ※ 日本塗料工業会 色見本帳色票番号または指定色見本による		
指定色 見本	色票番号	備 考
※ 有り □ 無し	(J15-60V)	
	()	

B 鋼材・鋼製品 ※ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) に規定する 2種 4級 12 μm 以上 ※ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) に規定する HDZ40、HDZ45 □ その他 ()
C ステンレス鋼材 ※ 2B仕上 ※ HL仕上 □ その他 ()

訂正年月日	概 要	特 記 事 項	作 成	設 計	担 当	検 印	工 事 名	縮 尺	通 し 番 号
								A1 1:.. A3 1:..	.. / ..
			作成年月日	タイプ	図 名	設計仕様書		区分	図面番号

製定: 2017.5.1



表の内